

2025年2月13日  
浮体式洋上風力技術研究組合

## NEDO グリーンイノベーション基金事業・浮体式洋上風力における共通基盤開発事業の採択決定について

当組合は、国立研究法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という）が公募した「グリーンイノベーション基金事業・浮体式洋上風力における共通基盤開発事業（洋上風力発電の低コスト化における【研究開発項目：フェーズ1-〔5〕）に事業提案していましたが、本日 NEDO より採択されました。

わが国においては、2050 年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、洋上風力発電の主力電源化が期待されています。特に浮体式洋上風力は、領海と排他的経済水域（EEZ）を合わせて世界第6位の広大な水域を有するわが国にとって導入余地が大きいとされています。

一方で浮体式洋上風力は、特有の構造から、設計、製造、施工、運用、保守等の面で様々な課題を有し、技術的課題の解決をはじめ、コストとリスクの低減を図ることが早期導入と拡大に不可欠となっています。

本事業は、浮体式洋上風力の共通基盤技術のうち最重要課題である以下の5つのテーマに取組み、浮体システムの全体最適を目指すとともに、国際展開に向けて欧米等各国との連携による基準の策定、標準化に向けた準備にも取り組んでまいります。

- ① 浮体システムの最適な設計基準・規格化等開発
- ② 浮体システムの大量/高速生産等技術開発
- ③ 大水深における係留・アンカー施工等技術開発
- ④ 大水深に対応する送電技術の開発
- ⑤ 遠洋における風況観測手法等の開発

本組合は、採択いただいた NEDO 事業の着実かつ円滑な推進に努め、本組合独自の取組みテーマと併せて浮体式洋上風力を国際競争力のあるコスト水準で商用化する技術の確立と早期導入を進め、わが国のカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

以 上

## 【事業内容】

### 1. 事業名

グリーンイノベーション基金事業／洋上風力発電の低コスト化

### 2. 予 算

約 40 億円（NEDO 支援規模）

### 3. 期 間

2025 年度～2030 年度（予定）

### 4. 採択テーマ

研究開発項目：フェーズ 1-〔5〕 浮体式洋上風力における共通基盤開発

研究開発について具体的には、今後の浮体システムの規格化や浮体の大量生産、EEZ への展開も見据えた大水深などの課題への対応や、グローバル市場も意識した国際標準等の実現に向けて、下記（1）～（5）を実施します。

（1）浮体システムの最適な設計基準・規格化等開発

（2）浮体システムの大量／高速生産等技術開発

（3）大水深における係留・アンカー施工等技術開発

（4）大水深に対応する送電技術の開発

（5）遠洋における風況観測手法等の開発

以 上